



R1年7月号

にじの会 ニュースレター

スマイル通信

皆さんいかがお過ごしでしょうか？ 夏のにじの会（慢性疾病のお子さんをおもちの保護者の交流会ならびに相談会）についてご紹介します。

2019年7月26日金曜日の午後、鹿児島市東部保健センターで開催されました。今回は6名の保護者とお子さん2名、専門スタッフとして教育委員会学校教育課の先生、訪問看護師、心理士、保健師が参加しました。2グループに分かれ、お茶を飲みながら、時間いっぱい語り合いました。毎回のことながら、時には涙の場面もありましたが、最後にはみなさん笑顔で会を終えました。

保護者交流



子ども交流

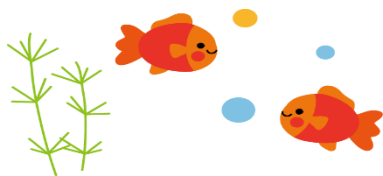


～保育士さんより～
ゆったり楽しく過ごせたようでした

～参加スタッフより～

境遇が似ていて、それでいて年齢や生活環境が異なる方同士が語りあうことは、近い未来を思い描いたり相談ができたり、『この時期を乗り越えてきた』という振り返りができる。

すごくいい場なので、もっと多くの方ににじの会を利用してほしい。



こんな話題がありました
(一部です)

思春期、これも成長？

入院生活

将来やりたいことあるのかな

発達の遅れと必要な支援

受け入れてくれる保育園がない！

友達関係

これから先、悩むこと考えること

病院の先生からもらった言葉

我が子の疾患の患者会は県外にしかない

親だから分かること、親しか分からないこと

病気が分かったときの気持ち

病気について友達や先生への伝え方

親自身のストレス発散方法

家族の病気に対する理解

病気の進行

あの時ああしていればよかったと反省することもある

参加された保護者の方の感想より

- 同じ病気の子を持つ方と話せてすごくよかった
- 就園・就学時に子どものことをどう伝えたらいいのかとても参考になった
- 不満や心に思っていることを相談し合えた これからの生活に役立てていこうと思った
- 学校、家庭のことを話せてスッキリした
- 普段思っているけど、なかなか相談できないことを先輩ママさんに相談にのってもらえて助かった
- 充実した時間になった
- 自分が経験したことが、少しでも参考になればいいな

☕ どっこいしょ休憩コーナー ☕

「にじの会」の由来について



皆さん、にじの会がどうして「にじの会」というかご存知ですか？

その答えは、10年前である平成21年7月開催のにじの会の様子について書かれたスマイル通信に載っていました。

第1回保護者交流会は平成21年1月に開催され、その後、保護者の皆さまに交流会の愛称を募集したそうです。「にじの会」はその中から選ばれた愛称でした。

「虹をみるには晴天の空では見ることはできません。雨が降って太陽が顔を出し、やっと美しい7色の帯が現れてきます。それは小児慢性特定疾患の子どもを持つ私たち親の思いにも似たところがあります。

私たちは我が子が幼いころから重い病と闘ってきました。でも、その辛さ、苦しさの中からはかけがえのないものや大切なものをみつけることができました。そのような理由からにじの会と考えました。」

名付け親の方が書かれた由来についての素敵なメッセージです。

にじの会がこれからも、参加した保護者の方々の心が軽くなるような会でありつづけますように。

次回のにじの会は★初★土曜日開催です

11月16日（土）

13:30～

鹿児島市役所西別館2階

詳細は別紙案内をご覧ください

みなさんのご参加をお待ちしています😊！

令和元9月発行
鹿児島市母子保健課
TEL 099-216-1485